

令和7年度建築士の日事業（連合会記念講演）に係る報告書 概要書

公益社団法人日本建築士会連合会
会長 古谷 誠章

1. 調査目的

建築士の日は、1950年7月1日に建築士法が施行されたことを記念して、1987年に本会が「建築士の質と地位の向上」を目的として定めて各種の記念行事をおこない、都道府県建築士会も本会に倣って行事を実施している状況にある。

建築士法施行後75年が経過するが、建築士及び建築士会の社会的な知名度が低いことが大きな課題となっており、本事業は、一般の方々に関心のある建築に関するテーマを、わかりやすく伝えて、建築士及び建築士会の存在を認識してもらう機会とする事業であることから、今年度は、在宅介護や高齢者が増加し、命に係わる深刻な問題となっている住宅のヒートショック、また熱中症を予防するという観点から、住宅の断熱改修を中心に、専門家による基調講演・対談などを動画配信することにより、一般の方々の住宅の断熱化の必要性に関する理解を深めて、住宅の断熱改修等につなげていただくことを直接的な目的とし、あわせて、建築士・建築士会が、住宅の断熱改修等のアドバイスができる地域社会の身近な存在であり、住宅の改修等を通じて国民の命を守る重要な役割を担っていることを、社会的に認識してもらうことを目的として行った。

2. 普及活動の内容

住宅の断熱性向上を進めて居住者の命を守る活動をされている伊香賀俊治氏（慶応大学名誉教授）と医師として住宅内の室温環境の適正化を推奨されている今村聡氏（元日本医師会副会長）に、その活動に関する基調講演、その後、本会の古谷誠章会長（早稲田大学名誉フェロー）との対談を通じて、一般の方々の理解を深めて、住宅の断熱改修等につなげていただく、パネルディスカッションを行った。

（1） 記念講演 YouTube 配信 令和7年6月29日（日）10時～

テーマ：いつもの暮らしにも 災害時にも 命と暮らしを守る「一室改修」のすすめ

基調講演①：伊香賀俊治氏「誰一人取り残さないために、せめてひと部屋断熱改修で暖かく涼しく健康に」

基調講演②：今村聡氏「医師から見た、健康省エネ住宅の重要性」

パネルディスカッション：一室改修のメリット、進めるに当たっての問題点等

パネリスト：伊香賀 俊治氏+今村 聡氏+古谷 誠章（公社）日本建築士会連合会会長

配信： 令和7年6月29日（日）10時から

配信方法： YouTubeにて配信（講演時間60分）

受講料：無料

（2） 建築士会 CPD プログラム 1単位

WEB 講習会 認定教材／建築士会WEBセミナーにてCPD単位が取得できる

3. 今後について

(1) 企画案

引き続き国民の関心の高い「防災」をテーマにする。

記念講演のタイトルを「まずは一室から始める〇〇改修」等、段階的な改修を示唆する表現に見直し、講演内容は、令和7年度の「一室断熱」から、「一室耐震、防火改修」に拡げて、耐震改修については、木質構造の専門家で著名な稲山正弘氏（東京大学名誉教授）、また、防火改修については、防火の専門家で著名な長谷見雄二氏（早稲田大学名誉教授）と、古谷会長との対談を令和8年度に予定。

議論を公開収録（観客（主婦連・若手建築士・学生等20名程）を入れることを想定）を予定する。

(2) 収録時期・方法

・建築学会会議室等を会場とし、公開収録は5月の連休明けに実施予定とする。

以上

*本調査は、公益財団法人建築技術教育普及センターの令和7年度調査・研究助成を受けて実施した。